

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 21年 8月 26日

【評価実施概要】

事業所番号	2870901473		
法人名	特定非営利活動法人エコロジーネットワーク		
事業所名	グループホームエコ西宮		
所在地	西宮市薬師町5-50 (電話) 0798-67-7775		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	平成7月22日	評価確定日	2009年8月26日

【情報提供票より】(H21年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 12 月1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人 人
職員数	14 人	常勤4人, 非常勤	10 人, 常勤換算 5.6 人

(2) 建物概要

建物構造	木造瓦	造り
	2階建て	1~2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,500 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,260 円		

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	16名	男性	3名	女性	15名	
要介護1	6名	要介護2	3名			
要介護3	4名	要介護4	2名			
要介護5	1名	要支援2	0名			
年齢	平均	86歳	最低	75歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人昭征会板野病院、なかみどり細川歯科
---------	-----------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>阪急門戸厄神駅から歩いて10分ぐらいの住宅地の中で、近くにスーパーや各科の医院がある。元社員寮を利用して、家賃を低く抑え、利用しやすい料金設定になっている。地域との関わりは、まずグループホームが地域に受け入れてもらえるよう民生委員にホームの実情を伝え、近所に挨拶し、民生委員、子ども会、家族等と連携し、利用者が地域と交流できるよう努めている。敬老会や地域行事に参加する人もいる。看取りについては職員が協力して最期まで関わる事ができた。</p>
--

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)</p> <p>地域密着理念を検討した。床を木目に張替え、落ち着いた雰囲気にした。チャートを使って、一人ひとりの体調の変化を分かりやすく確認できるようにした。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)</p> <p>自己評価は管理者が行った。利用者のレベルも様々で、安全に日常生活を送ってもらいたいと考えている。職員はよくやってくれている。前回の評価結果は職員と共有し、改善に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)</p> <p>行政、民生委員、知見者、家族、管理者、ケアマネがメンバーで、事業所の現況報告、行政からの情報提供や助言があり、家族の質問も出やすい場になっている。民生委員に事業所を理解してもらい、地域とのパイプ役をしてもらっている。事業所がより地域と繋がりが持てるようになった。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)</p> <p>毎月エコ通信で行事や往診日時を伝えている。また利用料請求時に利用者の写真を同封したり、金銭管理についても知らせている。状況変化については電話、手紙等でその都度知らせている。面会時や電話で意見、苦情等が出やすい声かけに努めている。家族会は以前開催していたが、参加者が少なく、現在は行っていない。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)</p> <p>・民生委員・地域のボランティア・子ども会・家族等から声かけで、敬老会や七夕、祭り、運動会等の地域の行事、子どもとの交流等に参加している。職員と一緒に買物の途中、近所の人と立ち話をしたり、地域の人々との交流に努めている。</p>

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・利用者主体の理念を作成し掲示しているが、地域密着型サービスの役割を反映した理念の内容になっていない。		・事業所ではこれまでの理念を見直し、地域での安心した暮らしを支える理念を検討中である。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・朝のミーティングで理念の共有を計り、利用者・家族が安心できるよう、家族とのコミュニケーションを密にしている。事業所は利用者が買物や美容院、神社へのお参りなど地域と関わられるよう配慮している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・民生委員・地域のボランティア・子ども会・家族等の誘いで、敬老会や地域の行事、子どもとの交流等に参加している。職員と一緒に買物の途中、近所の人と立ち話をしたり、地域の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価は管理者が行った。安全に日常生活を送ってもらうことを重点にしている。前回の評価結果は職員と共有し、改善に取り組んでいる。		・次回は職員も自己評価に参加できないか。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・行政、民生委員、家族、管理者、ケアマネが参加して、事業所の現況報告、行政からの情報提供があり、家族の質問も出やすい場になっている。民生委員に事業所を理解してもらい、協力の助言をもらっている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・生活保護受給についての連携や、入居者の問い合わせ等がある。事業所も必要に応じ、相談している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・毎月「エコ通信」で行事や往診日時を伝えている。また利用料請求時に利用者の写真や金銭管理についても知らせている。状況変化については電話、手紙等でその都度連絡している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・面会時や電話で意見、苦情等が出やすい声かけに努めている。家族会は以前開催していたが、参加者が少なく現在は行っていない。</p>		<p>・家族のみで話し合う場を設けたり、運営推進会議へ家族の参加を複数にし、意見が出しやすい工夫を検討できないか。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・新しい職員と馴染むには、少し時間がかかる。古参の職員がフォローしているので特に影響はない。管理者は職員の希望を取り入れシフトを決定する等働きやすい環境に留意して離職を抑えるよう努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修は必要に応じ、その都度行っている。新任者も含め職員同士のOJTを重視して介護の質の向上に努めている。資格取得については事業所も協力している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・年数回の管理者連絡会やスタッフ同士の交流会が開かれ、外部講師を招いての研修や、日ごろの悩みを話し合う交流も行われている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・入居前に利用者、家族に見学に来てもらう。生活歴を聞き、馴染みの家具等を持ってきてもらい、安心して生活できるよう配慮している。入居1~2週間は関わる時間を多く取っている。家族に特に協力は求めない。家族の思いで関わってもらうようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・調理の方法や子育て、花の栽培等教えてもらうことが多い。時には利用者になぐさめられ、元気をもらうこともあり、支えあう関係ができています。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・利用者と話しをする時間を多く持つよう心掛けている。思いや意向は、日々の関わりの中でのふとした言葉等から把握に努めている。</p>		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・ユニットリーダー・ケアマネジャー、管理者で介護計画を立てている。職員の気付きや医師の意見も参考にする。機能低下を防ぐ工夫をケアプランに取り入れるよう努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・3ヶ月に一回定期見直しを行っている。職員は朝のミーティングで利用者の変化について報告し、申し送りノートに記録しており、見直しの参考にしている。急変時はその都度ミーティングで検討し、随時見直しを行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・近隣の協力医への外来受診は事業所が通院送迎をしている。緊急時には医療連携により、状況に応じて往診などの対応に配慮している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・入居前からのかかりつけ医への受診は家族の協力を得ている。緊急時には医師間の連携のもと協力医に往診を依頼している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・看取り介護指針は作成し家族と承諾書を取り交わしている。終末期ケアについては職員間で話し合い、介護の質の向上を目指して意識と覚悟が一つになるようにしている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・利用者の誇りを傷つける言葉かけはしないよう職員同士で配慮している。個人情報の保護には注意している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・起床後、個別にその日の過ごし方の希望を聞き取り、笑顔が出るような楽しみの機会をつくることに努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・副食は法人本部で調理したものが配達されてくるので、盛り付けなどを利用者が手伝っている。ご飯と味噌汁はスタッフが調理している。		・利用者にとって最大の楽しみである食事については、楽しむことができるよい雰囲気づくりに努めていただきたい。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・入浴は週2回としているが状態に合わせた対応を心がけている。入浴の順番にこだわり拒否する利用者には、気持ちを受け止め、声かけを工夫して再度入浴を勧めるようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・洗濯物干しや取り入れ、整理など利用者それぞれのペースで手伝ってもらっているが、その都度言葉で感謝を伝えている。気分が不安定な利用者には、気晴らしのため外出に誘っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・利用者の希望、気分や体調に合わせて散歩や買物などに出掛けるようにしている。日常生活動作の低下により出掛ける気分にならない利用者が増えてきている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・外部からの侵入者を防ぐなどの安全面に考慮し、玄関と門扉を施錠している。		・事業所は安全第一だというのが、利用者が閉塞感を感じないような配慮を望む。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・年1回、通報・消火・避難訓練を実施している。</p>		<p>・運営推進会議などで非常時や夜間の対策を検討し、近隣住民の緊急応援体制をつくる必要がある。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・毎日の食事量や水分量は個別に記録している。水分量の少ない利用者には医師と相談し好みの飲み物を用意している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・自宅としての温かい雰囲気を感じられるよう床を木目調のクロスに張り替えた。利用者が居心地よく暮らせるように徐々に取り組んでいる。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・家具など使い慣れたものを持ち込み、それぞれの写真などを貼っている。家族の思いを重視している。</p>		<p>・居心地よい雰囲気を高めるように努めていきたい。</p>

 は、重点項目。